

unjour

2020
秋

いつもどこかで素敵な出会いを



読者プレゼント

同封のハガキに
ご意見・ご感想・質問など
お気軽にお寄せください。

**松田和傘店の
和傘**

抽選で**1名様に
プレゼント**

応募締切 令和2年12月31日(木)

※当選者には、こちらからお届けに伺います。

カトリックの葬儀

様々な宗教によって違いのある葬儀。

その中で、今回はカトリックの葬儀について

カトリック金沢教会様にお話を伺いました。

セレモニー会館兼六



セレモニー会館
兼六西泉

〒921-8043
金沢市西泉4丁目85番地
☎076-241-4949



セレモニー会館
兼六駅西

〒920-0024
金沢市西念4丁目26番15号
☎076-234-7744



セレモニー会館
兼六城北

〒920-0842
金沢市元町1丁目8番20号
☎076-252-9999



セレモニー会館
兼六笠舞

〒920-0965
金沢市笠舞3丁目4番3号
☎076-224-8700



セレモニー会館
兼六扇が丘

〒921-8812
野々市市扇が丘33番19号
☎076-248-0005

兼六互助センターからのお願い

■ご住所・ご連絡先が変わられた会員様へ
住所等変更をお知らせください

お電話またはEメールにて受け付けております。

☎(076)242-0612
Eメール: muraigrp@po.incl.ne.jp



インタビューと撮影にご協力いただきました。

カトリック金沢教会

〒920-0962 石川県金沢市広坂1丁目1-5 4
TEL. (076) 264-2536 FAX. (076) 264-2577

今回は葬儀についてお話を伺いましたが、もちろんそれ以外にもミサや結婚式、各種講座なども行っております。

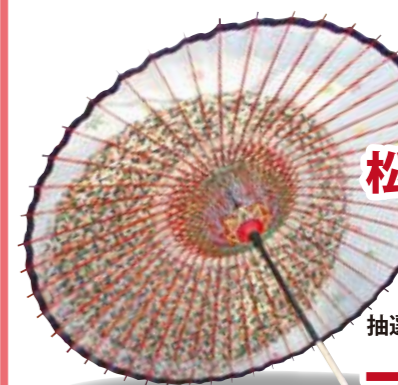
編集後記

今回ご紹介させていただきましたカトリック金沢教会様は、私が入社(20年前)する以前からのお付き合いのある教会として、当時はイタリア人の神父様が二人在籍されていたらしいです。

そのころ教会の担当になると、神父様の式進行やパイプオルガンの音色、教会の雰囲気がいまって日本を離れたように感じました。

皆様も足を運ぶ機会がありましたら、歴史ある建物でもありますのでご覧になられてはいかがでしょうか。

読者プレゼント



同封のハガキに
ご意見・ご感想・
質問などお気軽に
お寄せください。

**松田和傘店の
和傘**

抽選で**1名様に
プレゼント**

応募締切 令和2年12月31日(木)

※当選者には、こちらからお届けに伺います。

死は終わりではなく 新たな命の始まり

——まずは、カトリック金沢教会について教えてください。

創立は明治二十一年、金沢市片町に伝道士・水田若吉が講義所を開設したのが始まりです。そして明治二十九年に現在地に移転し、今に至ります。キリスト教にはご存じの通り、カトリックやプロテスタントなどの宗派がありますが、私どもは名前の通り、カトリックの教えを守り、日々の活動を行っています。

——とても立派な建物ですよ。

現聖堂は昭和三十四年に完成したもので、私どもカルメル会の、北イタリア・ボルザノ教会を模して作られました。玄関入口上部にあるイエス像は、ミケランジェロの彫刻『ピエタ』と同じく、カララの大理石を使っています。

——祭壇の後ろにあるステンドグラスも大変美しく、思わず見とれます。

すべてイタリアで制作されたものなんです。ただし題材には日本に縁



大聖堂内にあるステンドグラス

——葬儀が終わった後の納骨も、何か違いはありますか？専用のお墓があるのでしょうか？

野田山に専用墓地があり、いわゆる納骨堂もあります。大きな違いとしては、納骨のタイミングに決まりがないということでしょうか。

仏式の場合は、四十九日法要に合わせて納骨するのが一般的ですが、カトリックでは柔軟に考えます。暑い時期は避けて、もっと涼しくなってきたらやりましょうといったケースもありますね。

——かなり自由なんですね。

もちろん仏式に合わせる場合も多いのですが、皆さん色々です。お骨があると故人と一緒にいられる気がす

があるものを選び、祭壇向かって右は、キリシタン大名の高山右近とカルメル会の聖人・聖テレジアが描かれています。向かって左は、フランシスコ・ザビエルと細川ガラシャ夫人です。



大聖堂内にある絵画

——絵画も美しく心が洗われますし、この空間に身を置くと、仏教とは死生観が違うことを実感します。

カトリックにおいては、死は忌むべきものではありません。むしろ肯定的な意味をもっています。死は一つの出発であり、新しい命に生まれ変わるとい位置づけです。悲しいけれど希望もあるという感覚ですね。そのため葬儀では祭壇横に「復活のろうそく」を置き、シンボルとしています。

カトリックと仏式 葬儀の主な違いは？

——葬儀についてですが、仏式とは異なる点が色々あるかと思えます。主な違いについて教えてください。

まず違うのは、臨終を迎えつつあるときに神父が立ち会い、お祈りを捧げ、それから納棺となります。

——仏式のように、通夜は行うのでしょうか？

本来カトリックでは、通夜は行いません。ただし日本の習慣に合わせる形で、通夜を行うことがほとんどですね。その後の葬儀においては、ミサを行うことが大きな特徴と言えます。



教会入口上部のイエス像



大聖堂内

ミサは、イエス・キリストの復活を記念して行う大切な祭儀で、「最後の晩餐」に由来しています。そのため葬儀ミサにおいては、ご遺族がパンと葡萄酒を祭壇に捧げます。



実際の祭壇の様子

——葬儀で聖歌をうたうのも、仏式との大きな違いですよ。

カトリックにおいては、聖歌は「三倍の祈り」になると考えています。共同体という考え方もカトリックの特徴です。そのため皆さんで心を合わせて聖歌をうたうことで、皆さんが共に救われるというわけです。

——お祈りの作法が分からない場合は、どうすれば良いのでしょうか？

必ずしも言葉があるわけではありません。ただ心の中で祈るだけで十分です。人間を超えた力に対して畏敬の念を抱き、静かな沈黙の時間を持てば、それでいいのです。たまに幼稚園のお母さん方が子どもたちを連れてきて、静かに祈っていますよ。

——仏教徒の方がカトリックの葬儀に参列する際も、形式にとらわれすぎる必要はないのでしょうか？

神父さんの考え方にもよるかと思いますが、仏教徒の方がお数珠を持って葬儀に連れて来られて合掌されても、別に構わないと考えています。やはり国ごと、宗教ごとに文化がありますから。

献花も本来カトリックにはない習慣で、いわば日本独自の式次第なんです。焼香の代わりとして発生したのでしょね。カトリックだからと身構えず、心を込めてお祈りしていただければと思います。

——カトリックと仏教、葬儀の作法は違いますが、どちらも故人を偲ぶという意味では同じだと改めて感じました。今日は貴重なお話をたくさん聞かせてくださり、誠にありがとうございました。

『カトリックの葬儀』とは？



九里 彰（くのり）

あきら 男子蹴足カルメル修道会 カトリック金沢教会・カトリック小松教会主任司祭